

ID ^{注1)}	141202	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	--	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	平成26年度 白神山地世界遺産地域周辺（青森県側）におけるニホンジカ監視カメラ調査結果						発行年月/報告年月	
							2015年	3月
調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター			委託機関				
調査開始年	2014年	5月	調査期間	2014年	5月	～	2014年	12月
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	夏	秋		
ヒカリツ計画	2012年3月	策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1) (3)

調査箇所・範囲 ^{注3)}		調査手法
<input type="checkbox"/> 核心地域 <input checked="" type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域 <input checked="" type="checkbox"/> GPS等の位置データあり		<p>■目的 近年、白神山地周辺で目撃事例が増加しているニホンジカの生息域を把握することを主な目的として、環境省と協同で自動撮影装置によるモニタリング調査を実施した。</p> <p>■調査対象種 中・大型哺乳類</p> <p>■自動撮影装置設置箇所 世界遺産地域周辺の青森県側に、合計22台設置した（図1:カメラNo.1-30）。また、平成26年10月14日から15日にかけて、追良瀬川上流域でニホンジカが撮影されたことから、追加調査として追良瀬川沿いに3台設置した（図1:カメラNo.100-112）。</p> <p>■調査期間 ・No.1-30：平成26年 5月12日～平成26年12月5日 ・No.100-112：平成26年11月10日～平成26年12月1日</p> <p>■使用機器 ・No.1-12、111、112：TREL10J（株GI Supply） ・No.21-30、100：Fieldnote DUO（有）麻里府商事）</p> <p>■集計方法 撮影された画像について、目視で種名や個体数等の判別を行い、カメラNo.ごとに出現種や撮影回数等を集計した。</p>
 <p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>		

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

自動撮影装置による動物の撮影回数は、全調査地点を通して不明種を含めて合計626回、そのうち哺乳類は合計575回撮影された（表1）。最も撮影回数が多かった種はカモシカの203回で、次いでニホンザル154回、ノウサギ62回、ツキノワグマ45回、タヌキ38回と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類11種、鳥類3種であった。

撮影回数が特に多かった地点としては、カメラNo.11の125回、No.4の107回が挙げられる。一方、追加調査箇所のNo.112では動物は撮影されなかった（表1）。

本調査においてニホンジカは撮影されなかったものの、生態系や農林水産業に悪影響を及ぼすおそれがあり、同様に分布拡大が懸念されている種としてハクビシン（No.28）とアライグマ（No.21、22、30）が撮影された（表1、図2）。

問い合わせ	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町25-2 TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932 ≪原本（データ）の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

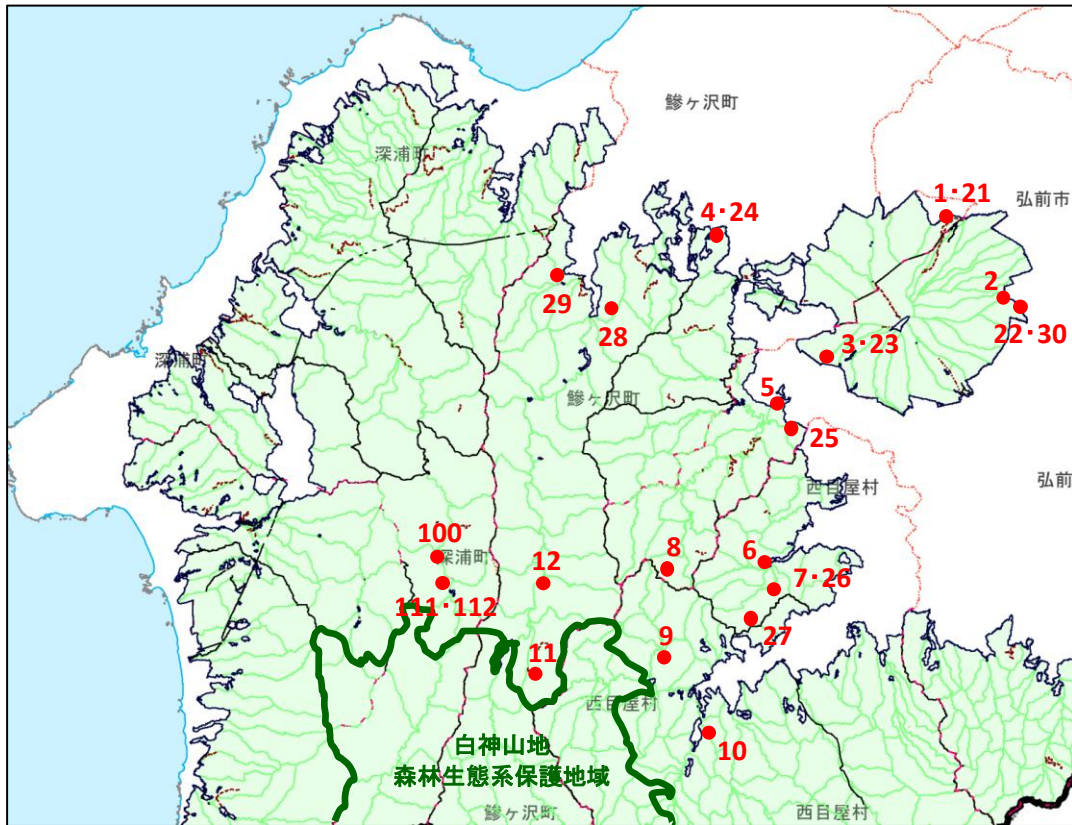


図1 平成26年度 自動撮影装置設置箇所

表1 自動撮影装置による動物の撮影回数

カメラNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	100	111	112	総計
ニホンザル			2	16	3	3	17	20	2	3	52	8			5	2	7	4	5	1	30		4			154
ノウサギ							1	3	1	1	26	3	4	2	2	5		3		2	2	6	1			62
ニホンリス													2					9	7	2						20
ムササビ																										0
ツキノワグマ			1	5			2	2	4	3	10	2	2		4			2	1	5	1	1				45
キツネ							1						2	2												5
タヌキ			3	1			1		1		8		10	3				4		3		4				38
テン								1			6		1	4				1		5		3	2	1		24
アナグマ											3										2		2			7
ハクビシン																					2					2
ニホンジカ																										0
カモシカ	6	5	1	82	9	2	17	2	46	4	6				3	2	4	1		10	1	1	1			203
アライグマ													1	1												4
コウモリsp.											1		1	1	1		2				1					8
ネズミsp.																		1	1	1						3
ハチクマ																	1									1
ヤマドリ											10										1					11
カケス																					1	1				2
不明		2	1	3			4	4	1		3	2	5	2	2	1		1		3	1	2				37
合計	6	7	8	107	12	5	43	32	55	11	125	15	28	15	17	8	9	29	13	43	7	22	8	1	0	626



ハクビシン (カメラNo.28)



アライグマ (カメラNo.30)

図2 自動撮影装置による生息域の拡大が懸念される種の撮影